

施策評価シート

評価年度	平成28年度	事業実施年度	平成27年度	施策主管次長名	政策推進部次長 原田 清明	
施策番号	67	施策名	連携と友好のきずなで築くまち		総合計画掲載頁	106
関係課名	産業課、学校教育課、スポーツ課、議事課					

1. 施策の概要

施策の目的	対象	市民	対象指標名	単位	H26実績	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
			① 人口	人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744
			②							
	③									
意図	友好都市との交流を推進し、相互の連携により絆を築く				成果指標名	① 交流事業による交流回数 ② 交流事業への市民参加者数 ③ 交流事業による来訪者数 ④ 友好都市との交流が重要歩だと思ふ市民の割合				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	交流事業による交流回数	回	14	14	15	15	15	15	15
①	指標設定の考え方と把握方法	交流事業の活性化を判断するため、交流事業の実施回数を担当課から把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	交流事業への市民参加者数	人	166	230	247	230	250	250	250
②	指標設定の考え方と把握方法	交流事業への関心の高さを判断するため、交流事業への参加者数を担当課から把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	交流事業による来訪者数	人	132	190	191	190	200	200	200
③	指標設定の考え方と把握方法	交流事業への関心の高さを判断するため、交流事業への参加者数を担当課から把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	友好都市交流が重要だと思ふ市民	%	62.7	60.0	61.3	63.0	63.0	63.0	63.0
④	指標設定の考え方と把握方法	「行政評価アンケート」で友好都市交流を「重要」及び「やや重要」とした市民の割合							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	友好都市の自然環境や文化に触れることで視野を広げ、相互理解と将来のみよし市のまちづくり・人づくりを担う。			
	行政	友好都市との相互連携を築くと共に、幅広い視野をもつ機会を提供する。			
達成度評価	近隣との比較	近隣市町とは、友好交流に対する考え方や交流の相手方も違うため、比較することができない。			
	過去3年間の実績との比較	平成27年度は、木曾町との老人クラブ連合会や土別市との少年スポーツの交流が活発であり、成果指標の交流回数、参加者数、来訪者数は増加した。			
現状と課題	行政が主催する交流事業には参加定員の制約などがあるため、記念的な事業がなければ大幅な交流機会や交流人口の増加は見込めない。今後友好都市との交流については、市民による自主的な事業が活発に行われるようにする必要がある。				
今後の取り組みの方向性および次年度の取組	◆国内友好都市交流として、スポーツや踊りなどの文化交流、産業フェスタへの相互出展などの産業交流が発展継続できるよう支援する。 (29年度の取り組み) ◆土別市：小学生スポーツ交流事業(野球・サッカー)、小学生派遣事業、土別市児童受入事業、人材交流、ふるさと交流、みよし市産業フェスタ、土別市産業フェア、文化協会作品交流 ◆木曾町：友好の森ふれあいツアー、議員交流、区長交流、老人クラブ連合会交流、みよし市産業フェスタ、いいんじゃんまつり、木曾町宿泊施設利用助成券の交付				
市民意識	重要度	低い	満足度	高い	平成27年度市民アンケート調査による